

未来の
ために、
いま選ぼう。

資料4

ナッジ以外の行動インサイトを活用した 政策アプローチについて (ブースト)

日本版ナッジ・ユニット BEST
(事務局:環境省)

原著Nudgeの発刊から10年、国際社会では「ナッジの先」を検討開始

- 英国ナッジ・ユニットの「成功」や『Nudge』共著者のノーベル賞受賞の後押しもあり、世界で200を超える組織が行動インサイトを活用
- 行動インサイトを活用した政策アプローチの代表例は「ナッジ」。成功事例が脚光を浴びる中、様々な指摘が挙げられている
 - ✓ 思うような効果が得られなかった事例も少なからずある
 - ✓ ナッジ単独ですべてがうまくいくわけではない
 - ✓ 効果を持続・増強させるにはどうすれば良いか
 - ✓ 他地域に展開させるにはどうすれば良いか
 - ✓ 一人ひとりに配慮した、よりパーソナライズしたアプローチは
 - ✓ 一人ひとりが自分自身にとってより良い選択を自発的に選んでいるか
 - ✓ 自らの判断でより良い選択ができるよう、自身の行動・習慣を見つめるきっかけや気づきを与え、リテラシーを高められるようになっているか
- 『Nudge』発刊から10年。こうした指摘を克服するため「ナッジの先」が国際的に検討されている (beyond nudge, 2nd generation nudge, nudge plus, etc.)

ブースト (boost)

「ナッジ」以外の行動インサイトを活用した新しい政策アプローチ

個人の技能と知識(コンピテンシー、リテラシー)を向上させ、人々が自分自身で主体的に選択する能力を育成する政策アプローチ: **「ブースト」**。

- ✓ 人々が**行動を習慣化し、維持**するには、**本人の主体的な関与**が欠かせない(行動変容ステージ理論で言えば、「無関心期」→「関心期」→「準備期」→「実行期」→「維持期」)
- ✓ マックスプランク人間発達研究所を中心として議論。教育と一部似た概念
- ✓ 例えば環境学習。現状や課題を認識させ、自分ゴトとし、自らができることは何かを考えて実践に移すよう後押し
- ✓ 例えば医療統計の透明性ある設計。薦められた医学的検査の潜在的なメリットが潜在的なデメリットに勝るかどうかを患者自身が自分で判断できるようにする。患者自身が認知的な戦略を立てられるようにする
- ✓ 例えば栄養指導。栄養面で健康に役立つように家庭の食事環境を整える容易な方法を身に着けさせる
- ✓ **行為主体性の維持を目的**とし、**自ら行為主体性を発揮**させることも可能とする

実証事業(学校教育を通じたB2E2Cナッジ)の概要

実はブーストの概念を取り入れた実証を実施中(H29~)

- ①行動変容ステージ理論に基づいて、児童・学生一人ひとりの省エネ行動への関心や実践状況に対応可能な省エネ教育プログラムを開発。
- ②実証校に導入し、授業を実施。家庭で電気・ガス・水道等の使用データを取得するとともに、省エネ行動の実施状況を振り返り。
- ③意識・行動の変化に加え、エネルギー使用量等に基づくCO2削減効果を定量的に評価。
- ④中高一貫校等で複数年にわたる実証を実施して省エネ行動の習慣化を検証。
- ⑤課題の抽出を行い、プログラムを改良。



教育プログラムの開発に当たり行動科学の知見を活用



教材・指導方針等の作成・改良

PDCA

効果測定・評価

学校

ベース学習による関心度向上 ★1

6 地球温暖化のしくみ

7 地球温暖化が引き起こす問題

省エネ方法の学習・実習

省エネ行動を体験・実践してみよう

1 ホットケーキの調理から考える省エネ

省エネ博士からの挑戦状

エネルギーデータ報告シート

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
電灯										
エアコン										
冷蔵庫										
洗濯機										
乾燥機										
給湯機										
炊飯器										
電子レンジ										
テレビ										
パソコン										
その他										

行動・エネルギー使用量の振り返り → 提出 ★3

家庭での実践



家庭

エネルギー・水道使用量等の記録

メーターの読み取り方法

学校

8 新聞作成

★5

学習内容を新聞にまとめる

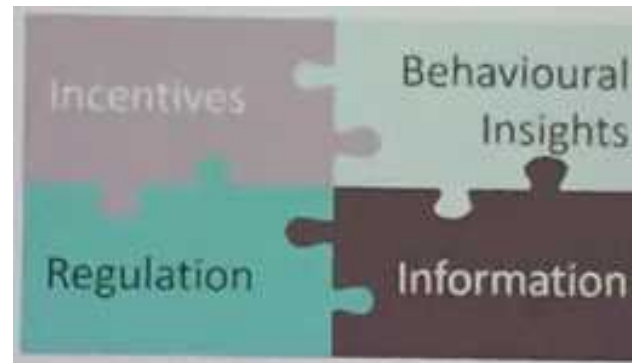
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ★1 無関心層への情報提供は効果が低い(行動変容ステージ理論) ★2 行動を宣言すると実行する確率が上がる(コミットメント) ★3 行動の結果が分かると、行動を改善する(フィードバック) ★4 自分にとって重要な他者の期待に応えようとする(主観的規範) ★5 自ら出力する(使う)情報をよく記憶する(テストング効果) | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 生徒・児童が省エネに取り組む必要性・重要性を理解する ⇒ 取り組む省エネ行動のシールを家庭内に貼る ⇒ メーターの読み取り、報告シートの記入等による振り返り ⇒ 生徒・児童(子ども)から家族(親)への働きかけ ⇒ 学び、調べた内容を「地球環境(省エネ)新聞」にまとめる |
|--|--|



我が国は行動インサイトの活用で何周も周回遅れ



- ◆ 国際社会では、各種行動インサイトと伝統的政策手法（規制、財政、情報等）が補完し合う形でより良い政策が実現することを志向



- ◆ 我が国では、ようやくナッジが産学政官民のそれぞれの立場で浸透し始めてきたところ。行動インサイトを活用しようとする機運がある今が大事！
- ◆ 重要なのは、ナッジだけ、ブーストだけを取り上げるのではなく、いかに各種行動インサイトを伝統的政策手法の中に組み込んでいくか

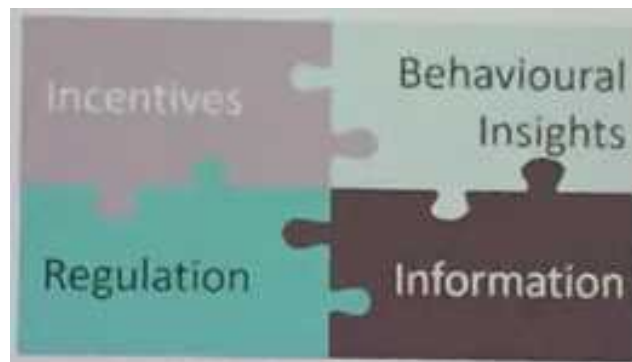
BESTは人々のより良い選択のために



Behavioral Sciences Team

for a better choice

- ✓ 私たち一人ひとりが自分自身にとってより良い選択を自発的にできる制度設計になっているか
- ✓ 私たちが自らの判断でより良い選択を選択できるよう、自身の行動・習慣を見つめるきっかけや気付きを与え、リテラシーを高められるようになっているか



○新たな政策・施策手法へ

伝統的政策手法(規制的手法、財政的手法、情報的手法)と行動インサイトが補完し合って、より良い政策・施策の実現へ